

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	商業・サービス業の振興			
施策の体系	基本目標	ひとが賑わうまち	施策の主担当課名	商業観光課
	基本施策	産業活性化プロジェクト	関係課名	—
	施策コード	A-2-3		

① 施策の現状と課題	<p>既存の商業地域における商業集積の変化、郊外型大型店の進出により、商業・サービス業を営む小売業を取り巻く環境は一層厳しくなっています。</p> <p>本市では、行橋駅東西に多くの商業・サービス施設が進出しており、特に駅西側には新たな商業核が形成されています。一方、駅東側の既存商店街は空洞化が進み、厳しい状況が続いています。これまでに、商店街にコミュニティ広場の設置、集客力のあるイベントの実施など商店街活性化に取り組んできました。また、商業者、農協、漁協、地域住民らで構成する「行橋商店街活性化がんばろう会」を立ち上げ、コミュニティ広場を活用した料理教室や文化祭の開催、コミュニティバスの運行、商店街散策マップの作成などにも取り組んできました。しかし、なかなか成果が見えてきません。</p> <p>多くの商業・サービス業がある中心商店街を活性化させるには、商店街の役割や商業形態の見直しも必要ですが、最も重要なのは魅力ある商店づくりといえます。大型店や他の商業集積地では求めることのできない、消費者が必要とする物とサービスを提供できる店づくり、消費者の購買意欲が湧くような店づくりを進めていくことが必要です。それと同時に、道路や景観など商業地域を形成する周辺の整備も進めていく必要があります。</p>
② 施策の基本方針	<p>消費者が物・サービスを求めて、訪れたいような商店づくり・商業地形成づくりを積極的に支援していきます。また、商業者の経営革新の推進を支援します。</p>

③ 施策の内容 (主要施策)	<p>主要施策名(1) 商業診断の実施</p> <p>商店街の現状を把握するために、商業圏における消費者ニーズ調査を実施するとともに、中心商店街を対象とした商業診断を実施します。</p>
	<p>主要施策名(2) まちづくり勉強会の実施と魅力ある商業地域形成の推進</p> <p>商業診断の結果を参考に、商店街で勉強会を重ね、組織の連携と強化を図り、商店街が進むべき方向性を見出します。特に、広域幹線道路整備に対応した市内道路ネットワークの変化等を見通した魅力ある商業地形成に努めます。</p>
	<p>主要施策名(3) 魅力ある商店づくりの推進</p> <p>商工会議所・中小企業診断士らと協力し、魅力ある商店づくりを推進します。</p>
	<p>主要施策名(4)</p>
	<p>主要施策名(5)</p>
	<p>主要施策名(6)</p>
	<p>主要施策名(7)</p>

④ 目標指標	指標名(単位)	過年度実績			評価年度	目標値			達成度の説明 (H25年度)
		H22年度	H23年度	H24年度		H25年度	H26年度	H27年度	
	まちづくり勉強会の開催回数(回)	0	5	5	5	5	5	5	中小企業診断士を講師に迎え、「個店の魅力づくり」をテーマに勉強会を実施した。
	経営革新事業の参加店舗数(店舗)	0	0	1	4	2	2	2	4店舗が経営革新事業に参加。
	商店街の活性化に関する市民満足度(%)	7.1	—	—	—			10.0	アンケート調査等を実施していないため、市民満足度を測ることができない。
		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	
		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	

⑤	事務事業名	事務事業の内容	事業費(人件費込、単位:千円)			優先順位
			H24年度実績値	H25年度実績値	H26年度見込額	
施策構成 事務事業	1	まちづくり勉強会事業	2,283	2,280	2,280	1
	2	商工業対策事業	8,087	11,171	9,762	2
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					

⑥ 施策全体の今後の方針と展望 (主要部長の意見)	<p>近年、郊外における大型商業施設の進出等により、商業・サービス業を営む小売業を取り巻く環境は、厳しさを増している。とりわけ行橋駅東側の既存商店街は、空洞化が進み、大変厳しい状況が続いている。しかしながら、東側には、大原病院や福岡銀行など集客施設があり、人を呼び込むため商店街の一層の努力が必要である。行政として、今後ともまちづくり勉強会を継続するとともに、行政と商店街が一緒になって将来展望について議論を進めていく必要がある。</p>
---------------------------------	---

⑦ 総合計画審議会からの意見及び指摘事項等	<p>大型店の進出が続き、旧市街地商店街に益々厳しい状況である中、駅東側の市街地については、今後そのあり方について、商業のみではなく、住居系の誘導も視野に考えるなど商業と住居系の併設を検討すべきである。また、商工会議所や商店街との連携を深め、空き店舗や空き駐車場の有効活用についても関係者と協議を行ない、空洞化に繋がらないよう対策を講じたい。</p> <p>まちづくり勉強会で学んだ内容が反映できるような施策を行政と民間とで連携して実施できるよう取り組んでもらいたい。</p> <p>なお、交通(歩行者・車)の流れの無いところに商業・サービス業の発展は無いと考える。従って、交通の流れを導入する施策も併せて検討してほしい。</p>
--------------------------	---

⑧ 施策に対する市の最終方針	<p>近年、郊外における大型商業施設の進出等により、商業・サービス業を営む小売業を取り巻く環境は、厳しさを増している。とりわけ行橋駅東側の既存商店街は、空洞化が進み、大変厳しい状況が続いている。しかしながら、東側には、大原病院や福岡銀行など集客施設があり、人を呼び込むため商店街の一層の努力が必要である。また、商業施設単独で人を集客することは難しいので、商店街全体としての魅力づくりやマンション等住居施設の誘導も合わせて検討したい。そのためにも、道路及び駐車場整備、空き店舗対策を行い、今後ともまちづくり勉強会を通して、行政と商店街が一緒になって将来展望について議論を進めていく。</p>
-------------------	--